

## 2023年度 事業報告書

2023年10月1日から 2024年9月30日まで

特定非営利活動法人マドレボニータ

## 1 事業の成果

## ①教室事業

- ・オンラインと対面両方で産前・産後ケア教室を開催し、産前産後ケアプログラムを継続的に提供した。
- ・※産後ケアバトン制度（多胎児の母やひとり親などへの受講料補助、介助ボランティアによるサポートなど）にて、28組を受け入れた。また新たな試みとして聴覚障がいのかたのオンライン教室受講を受け入れた。
- ・パートナーと参加できるオンラインと対面形式のカップル講座の普及に努め、33組52名（単身参加者含む）が参加した。
- ・企業向け復職支援プログラムを4社に提供。36名が参加した。導入先の一社である商船三井では、産後ケア教室の受講料補助対象者を本社のみからグループ会社に拡大した。
- ・インストラクター、スタッフで団体合宿を実施し、産後ケアプログラムのブラッシュアップやチームビルディングを行った。
- ・NIKEジャパン社と協働で国際女性デーに社員向け啓発イベントを開催、また法人会員の株式会社ベルタと協働で同社のオフィス内にて産後ケア教室を2クール開催するなど、企業との協働にも注力した。
- ・自治体と協働で父親のみを対象としたセルフケア講座を実施した。

## ②養成事業

- ・2023年10-1月に開講したアドバイザー養成スクール5期では「産後セルフケアアドバイザー」6名が誕生した。

## ③研究開発事業

- ・SNSで産前・産後のお役立ち情報を継続的に発信し、新たな受益者への啓発に取り組んだ。
- ・10年ぶりに産後ケアリーフレット改訂に着手し、2024年10月に完成した。
- ・コロナ禍において実施した産後の体とパートナーシップに関する調査研究をまとめた「産後白書4」を冊子として印刷し、地域団体やNPOなどに32冊提供した。
- ・会員と協力して過去に発行した産後ケアの啓発・普及の考察レポート「マドレジャーナル」を用い、インストラクターによるマドレジャーナル読書会を実施して教室プログラムの知見をわかち合い考察を深めた。
- ・教室卒業生や希望者向けに毎月1回メールマガジンを発行した。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
産前・産後のボディケア&フィットネス教室事業	・対面とオンラインによる産後ケア教室、オンライン/対面カップル講座、各種教室の実施 ・多胎児の母やひとり親等の受講料を補助する産後ケアバトン制度の推進 ・自治体での講座開催（練馬区、杉並区、横浜市、千葉県茂原市、宇都宮市、岐阜県山県市、北海道美幌町、和寒町、妹背牛町、）	2023年10月～2024年9月	全国	54人	妊娠中～産後の女性及び家族、一般市民1,270人	7,437

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業での復職支援プログラムの推進</li> <li>・企業向け産前講座オンライン講座の販売</li> </ul>					
産前・産後セルフケアインストラクター養成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成スクール開催</li> <li>・産後セルフケアアドバイザー6名誕生</li> <li>・認定インストラクター制度整備、研修の実施</li> </ul>	2023年10月～2024年9月	各受講者の居住地	23人	一般市民、産後セルフケアアドバイザー24人	564 (千円)
産前・産後のボディケア&フィットネスプログラム研究開発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSでの啓発情報の発信</li> <li>・産後白書4の配布</li> <li>・マドレジャーナル読書会実施</li> <li>・産後ケアリーフレット配布</li> <li>・月刊メールマガジン発行</li> </ul>	2023年10月～2024年9月	全国	34人	一般市民、自治体、病院、子育て支援施設等26,696人	173 (千円)

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額
なし	なし	—	—	—	—